

Cisco Prime Collaboration プロビジョニングにおける SQL インジェクションの脆弱性

High アドバイザリーID : cisco-sa-20180606-prime-sql [CVE-2018-0320](#)
初公開日 : 2018-06-06 16:00
バージョン 1.0 : Final
CVSSスコア : [8.1](#)
回避策 : No workarounds available
Cisco バグ ID : [CSCvd61754](#)

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco Prime Collaboration プロビジョニング (PCP) の Web フレームワーク コードの脆弱性により、認証されていないリモートの攻撃者が任意の SQL クエリを実行できる可能性があります。

この脆弱性は、SQL クエリ内のユーザ入力を正しく検証できないことに起因します。この脆弱性は、悪意のある SQL ステートメントが含まれている、巧妙に細工された URL を攻撃者が該当アプリケーションに送信することによって不正利用される可能性があります。

この脆弱性に対処するソフトウェア アップデートは、すでにシスコからリリースされています。この脆弱性に対処する回避策はありません。

このアドバイザリーは、次のリンクより確認できます。

<https://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20180606-prime-sql>

該当製品

脆弱性のある製品

この脆弱性は、Cisco Prime Collaboration プロビジョニング (PCP) リリース 12.1 以前に影響を与えます。

管理者は Cisco PCP GUI を使用することで現在の PCP リリースを確認できます。

1. PCP にログインします。
2. 画面の右上近くにある設定アイコンをクリックします。

3. [バージョン情報 (About)] をクリックします。

リリース情報は、ログイン画面にも表示されます。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

[このアドバイザリの脆弱性のある製品セクションに記載されている製品のみが、この脆弱性の影響を受けることが分かっています。](#)

回避策

この脆弱性に対処する回避策はありません。

修正済みソフトウェア

シスコはこのアドバイザリに記載された脆弱性に対処する無償のソフトウェア アップデートを提供しています。お客様がインストールしたりサポートを受けたりできるのは、ライセンスをご購入いただいたソフトウェア バージョンとフィーチャ セットに対してのみとなります。そのようなソフトウェア アップグレードをインストール、ダウンロードする、または、アクセスしたり、その他の方法で使用する場合、お客様は以下のリンクに記載されたシスコのソフトウェア ライセンスの条項に従うことに同意したことになります。

<https://www.cisco.com/c/en/us/products/end-user-license-agreement.html>

また、お客様がソフトウェアをダウンロードできるのは、ソフトウェアの有効なライセンスをシスコから直接、あるいはシスコ認定リセラーやパートナーから取得している場合に限りです。通常、これは以前購入したソフトウェアのメンテナンス アップグレードです。無償のセキュリティソフトウェア アップデートによって、お客様に新しいソフトウェア ライセンス、追加ソフトウェア フィーチャ セット、またはメジャー リビジョン アップグレードに対する権限が付与されることはありません。

ソフトウェアのアップグレードを検討する際には、[Cisco Security Advisories and Alerts ページ](#)で入手できるシスコ製品のアドバイザリを定期的に参照して、侵害を受ける可能性と完全なアップグレード ソリューションを確認してください。

いずれの場合も、アップグレードするデバイスに十分なメモリがあること、および現在のハードウェアとソフトウェアの構成が新規リリースで引き続き正しくサポートされていることを十分に確認してください。不明な点については、Cisco Technical Assistance Center (TAC) もしくは契約しているメンテナンス プロバイダーにお問い合わせください。

サービス契約をご利用でないお客様

シスコから直接購入したがシスコのサービス契約をご利用いただいていない場合、また、サードパーティ ベンダーから購入したが修正済みソフトウェアを購入先から入手できない場合は、Cisco TAC に連絡してアップグレードを入手してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/web/tsd-cisco-worldwide-contacts.html>

無償アップグレードの対象製品であることを証明していただくために、製品のシリアル番号と、本アドバイザリの URL をご用意ください。

修正済みリリース

この脆弱性は Cisco Prime Collaboration プロビジョニング リリース 12.2 以降で修正されています。

このソフトウェアは、Cisco.com の [Software Center](#) で、[すべて選択 (Browse all)] を選択し、[クラウドおよびシステム管理 (Cloud and Systems Management)] > [コラボレーションおよびユニファイドコミュニケーション管理 (Collaboration and Unified Communications Management)] > [Prime Collaboration] に進むことでダウンロードできます。

不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team (PSIRT) では、本アドバイザリに記載されている脆弱性のエクスプロイト事例やその公表を確認していません。

出典

本脆弱性は、シスコ内部でのセキュリティ テストによって発見されました。

URL

<https://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20180606-prime-sql>

改訂履歴

Version	Description	Section	Status	日付
1.0	初回公開リリース		Final	2018 年 6 月 6 日

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。